

職員による自己評価

A環境面

- ・人数配置は基準を満たしている。
- ・掃除はできているが、本・玩具などの整頓は努力が必要。借りているものもあり、数が多いため、より徹底した管理が必要。

B児童への支援内容

- ・児童の学習の根本的なつまずきを探り、解決していくために学習進度表を活用している。
- ・ケース会議を行い、各児童の特性に合わせた支援を検討・共有している。
- ・ケース会議の時間が少ないため、回数を増やす必要がある。

C関係機関との連携

- ・放課後等デイサービスの協議会等に参加をしている。今後も継続していく。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・LINE 等の活動報告に加え、送迎時に活動の報告も行っている。

E非常対応

- ・「地震」「火災」「嘔吐」「事故」「浸水」など地域に合わせた非常時想定をしており、マニュアルを作成している

保護者による評価

A環境面

- ・教室がビルの2階に位置しており、ベビーカーと一緒に来校した際には、子どもを抱いて上げる必要がある。

B児童への支援内容

C事業所からの情報発信

- ・LINE、メールで活動の詳細を受け取っている。

D非常対応

E満足度

- ・大変満足しております。
- 別料金でもいいので学習面で個別指導などがあると嬉しいのですが
- ・勉強面でのサポートもなのですが、コミュニケーションが得意ではない娘へのサポートなどのおかげで徐々にですが、生活と気持ちが落ち着きつつあります。
- 家ではやらない工作などを一緒にしていただけると感謝しかありません。本当に毎回いろいろな経験をさせていただけてありがとうございます。

事業所内での分析

【共通点】

- ・学習指導への具体的な支援を求めている。
- ・日々の活動報告がもれなく行うことができている。

【相違点】

- ・非常時対応へのマニュアルはあるものの、周知が徹底しきれていない。全体の1割が「どちらともいえない」と回答。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・駅から近く、付近の児童はもちろん、電車を使って区外からも多く利用していただいている。
- ・学習進度表を使うことで、個別支援計画にもどの段階で躓いているかをご家庭と共有しやすくしている。
- ・日々の記録で児童の様子を漏れなく提供している。
- ・各児童に合わせた学習法を探れるよう、多くの学習支援教材・用具を用意している。
- ・外国語が母国語のご家庭には、外国語の先生を通訳に招く、ひらがなや母国語にて情報共有をするなど、書くご家庭の状況に合わせてコミュニケーションをとっている。

事業所の改善点

- ・ケース会議の回数を増やし、職員同士の児童への理解、情報共有をより徹底する。
- ・おもちゃや本の整理を徹底し、キレイで安心安全なかで学習できる環境を提供していく。
- ・非常時対応マニュアルの周知の機会を増やすため、教室内に掲示する。また職員に対してもマニュアルや対応の仕方を確認する機会を増やす。
- ・保護者への情報発信を強化します。保護者会や他事業所との交流などの要望もあり、今後検討していく。

事業所の改善への取り組み

- ・活動報告の一環として、保護者向け会報を作成し、毎月配布している。
- ・ケース会議を月1で開催する。
- ・マニュアルは職員、保護者の目の留まりやすい場所に掲示している。
- ・半年に1度避難訓練を行い、非常時対応に備える。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の方々から、普段なかなか聞けないような貴重な意見が聞けた。分析からは個別学習の拡充を希望されたり、療育面での満足度を評価していただいたり、多様な需要があることが分かった。

事業所開設から1年経ち鶴見教室としての運営が軌道に乗りつつある中で、より発展させるための要素が固まってきており、今回の結果も活用し保護者の充足度向上に邁進していきたい。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクール 鶴見教室

保護者数（児童数）：44名 回収数： 34 割合：77 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	1			
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	2			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	7	5	○階段を上げる必要があるため、ベビーカーで下の子を連れていくときは大変でした。 ○見たことがないので分からない	
適切な支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	31	2			
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	25	5			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 7	12	不必要 15	○放課後等デイサービスとして交流があるかというとなと思うが、既に現在の子どもの状況が接することを余儀せざる環境のため	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	34				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	34				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 6	15	不必要 12	○現在は必要とは感じないが今後メンバーが固定され子ども同士の付き合いが長くなると保護者と連携や情報共有の機会があればと感じます。	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	10			
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	7	3		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	30	3			
非常時等	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	5			

の 対 応	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	4	1		
	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	22	2			
満 足 度	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	1		<p>○大変満足しております。 別料金でもいいので学習面で個別指導などがあるとうれしいのですが</p> <p>○勉強面でのサポートもなのですが、コミュニケーションが得意ではない娘へのサポートなどのおかげで徐々にですが、生活と気持ちが落ち着きつつあります。 家ではやらない工作などを一緒にしていただけること感謝しかありません。本当に毎回いろいろな経験をさせていただけてありがとうございます。</p>	

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年3月31日 事業所名：オレンジスクール 鶴見教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に準拠しています。	
	②	職員の配置数は適切であるか		○		法令に準拠しています。	より充実した支援体制のため、効率の良い人員配置や補強を検討します。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関・トイレに段差があります。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ケース会議や、目標の設定・結果・考察など適宜行っています。	ケースの検証に突発的なものの方が多いため、計画的なケース会議の回数を増やします。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の皆様に事業所評価アンケートのご協力いただき、業務の改善に取り組んでいます。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			オレンジスクール鶴見教室のHP内で公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			現在は、事業所・保護者様の二者評価です。今後必要に応じて第三者評価を検討して参ります。	
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			教室内の現状に応じて研修を実施、参加しています。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画の説明も含め、保護者の方のご要望と課題に沿った計画を立案できるよう心がけております。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所で統一した書式を使用しております。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事業所職員全体で行っています。	
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか		○		お子様の特性、課題に応じた内容を日々検討しています。	パターン化は否めなく、今後、変化を加えた活動も盛り込むことも検討を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。学校行事の影響も考慮しつつ検討しています。学習支援の道具もそろえています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		ご利用時間の前に、当日の動きを職員間で確認しています。	個々の職員への情報共有はするものの、全体での動きの確認は課題である。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後、職員間で情報の共有を行っています。 非常勤職員からも活動時のメモをもらい、記録以外の小さな気づきも拾えるようにしています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回活動記録を記入しています。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回を目安に実施しています。その際に個別支援計画も作成しています。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			個別支援計画をもとに、活動内容等を検討、設定した上で支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、支援を担当するスタッフが参画することになっています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		必要に応じて、連携を行なっています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療職スタッフを配置していないため、ご利用の際は主治医、保護者様とご相談をさせていただきます。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要に応じて、連絡・連携を行なっています。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		必要に応じて、連絡・連携を行なっています。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修会や見学会に参加し、日々の支援に繋がっています。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	ご利用時間の関係で、オレンジスクール全体での交流は難しい状況です。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			鶴見区障害児関係機関連絡会に参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用後、その日の活動報告をさせていただいています。また、保護者様からのご相談もメール、LINE等をご活用いただいています。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。積極的とはいえ難しい部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思っています。	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約の際にご説明しています。また、教室内にも掲示をしています。	

保護者への説明責任等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談の際に、お困り事等に対してお話をさせていただいております。積極的とはいえ難しい部分がありますので、今後方法等を検討していきたいと思います。	
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は、行っておりません。今後検討していけたらと思います。	
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情をいただいた際は、社内のフローに従って迅速かつ適切に対応をします。	
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ブログにて活動の様子を報告しています。	会報での報告はできておりません。今後、活動報告や行事予定なども盛り込んでいけたらと思います。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報書類につきましては、鍵付き棚で保管しています。また、教室内の全PCにはパスワードを設定しています。	
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		お伝えする情報は紙面化を心がけています。お子様へは特性に合わせた情報伝達手段を使用するようにしています。	
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在実施しておりません。	
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		事業所内でマニュアルを作成掲示しております。また川に挟まれた土地柄「浸水」に関してもマニュアルを作成しております。	
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		夏と春の長期休暇中に訓練を実施していません。	
	㉙	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		事業所内でマニュアルを作成し、研修を行っています。	
	㉚	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		安全にご利用いただけるよう、事業所内で対応を決定しています。また、その内容に関しては面談際に保護者様にご説明し、確認をとります。	
	㉛	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事、おやつ等の提供は行なっていません。	
	㉜	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハットが発生した際は、報告書を作成し、職員で共有を行います。同様の事象が発生しないよう、迅速に対応します。	

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。